

インナー大会プレゼン部門 2017 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学名 (フリガナ)	学部名 (フリガナ)	所属ゼミナール名 (フリガナ)
フリガナ) タカサキケイザイダイガク	フリガナ) ケイザイガクブ	フリガナ) ミズグチゼミ
高崎経済大学	経済学部	水口ゼミ

※大会申込書時に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入してください。

チーム名 (フリガナ)	代表者名 (フリガナ)	チーム人数 (代表者含む)	PPT 動画 (有・無)
フリガナ) シンリンハン	フリガナ) タキグチ リョウカ	4	無
森林班	滝口 凌輔		

※プレゼンツールを使用する場合は記入してください。記入がないプレゼンツールは大会当日使用できません。

使用するプレゼンツール (具体的に使用するツールを明記してください)

MS パワーポイント

研究テーマ (発表タイトル)

パーム油生産における問題とその改善案

※必ず<企画シート作成上の注意>を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要 (目的・狙いなど)

インスタント麺、チョコレート、化粧品、洗剤、私たちが日常的に消費するこれらの財に、パーム油は使用されている。アブラヤシという植物から採れるパーム油は、食品だけでなく様々な用途があるため世界中で使われている。しかし一方で、生産段階において、熱帯雨林の減少要因となっていること、人権侵害が発生していることなどの複数の問題をはらんでいる。現行、パーム油生産によって生じるこれらの問題を解決するための認証制度が存在しているが、課題も多いため新たなスキームを提案することが目的である。

2. 研究テーマの現状分析 (歴史的背景、マーケット環境など)

パーム油は、生産効率、利便性の高さゆえに現在、日本の植物油脂消費の 1/4 を占め、世界で最も生産されている植物油脂であり、今後もその需要は拡大していくと予測される。しかし、日本においてはパーム油の認知が低いと考えられる。というのも原材料表示に“パーム油”が記載されていないこと。さらにアブラヤシの植生が赤道付近でかつ一定以上の降水量が必要とされるため日本人にはなじみのない植物である等といったことに起因する。

パーム油生産によって生じる問題は、環境と人権の問題に大別される。前者、環境問題はパームのプランテーション作成の際に伐採や焼き畑によって、広大な面積の熱帯雨林を減少させていることである。これに伴い、生態系破壊や、炭素固定量による地球温暖化の促進が起こることとなる。後者、人権問題は従業者が過度な肉体労働や児童労働といった過酷な労働環境に身を置いていることである。

このような問題を解決するために RSPO(Roundtable on Sustainable Palm Oil)が設立される。この組織は持続可能なパーム油生産のための原則と基準を定め、遵守されたパーム油に認証を与えるというものである。IOI グループ（以下 IOI）が環境の破壊に加担しているという報告を受け RSPO が IOI の認証を停止した際、IOI は高い基準の環境保全のコミットメントを発表。そのコミットメントを評価して RSPO は認証を再開した。このように実際に大きな企業の環境保全への意思決定を促し実行させている RSPO の活動は評価に値するだろう。

3. 研究テーマの課題

パーム油が身近な食料品、日用品に用いられるまでの流通経路は以下のようになっている。まずインドネシア、マレーシアをはじめとする農園でアブラヤシが栽培され、搾油・精製を行うために現地の精油工場を経て、日本の食品や化粧品メーカーに卸される。農園は smallholder と呼ばれる小規模農園が 300 万以上存在し、世界のパーム油の 4 割を占めている。このあまりに細分化された農園に対する詳細な調査を、日本の食品や化粧品メーカーが行うことは、困難を極めると考えられる。

さらにすでに RSPO 認証を得ているウィルマーの農園でも過酷な労働環境に苦しむ人々がいると人権系の NPO であるアムネスティがレポートを発表した。レポートによるとある農園は、給料の支払い方式は歩合制で厳しいノルマの達成を強いられ、それができない場合には生活がままならないような低い給料しか支払っていなかったのである。そこで過酷な労働で十分に働けなくなってしまった大人が、その厳しいノルマを達成するために、自分の子供にも農園で労働を行わせていた例などが挙げられていた。このように RSPO 認証を得ている農園ですらもこういった人権にかかわる重大な問題を抱えているケースがある。このことからすべての農園を詳細に調査することは、RSPO をもってしても困難であるということが伺える。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

上記のような課題を解決するために、農園の従業員が自主的に労働環境を改善していく仕組みを考えた。

まず「自分たちの職場のことは自分たちが一番理解しているので、自分たちで改善していく」という考えをもとに ILO が作成した中小企業向け自主改善活動（Work Improvement Small Enterprise:WISE）を参考にした。WISE はすでにアジアで適用されているプログラムであり、収益性と労働条件の改善を目的にしている。このプログラムを基に日本の漁業向けに簡便化したのが、船内向け自主改善活動（Work Improvement on Board:WIB）であり、船舶関連の企業に広く採用されている。漁業は労働災害の発生率が他産業に比べて高くなっている。アクシデントを防ぐために労働環境の改善が必要であるが、船内の状況は多様であるため、内情をよく知っている従業員による改善が効果的となる。

パームのプランテーションも過酷な労働条件だけでなく、労働災害が起こり得るような実態、多数の smallholder の多様な労働環境が存在するといった共通点がある。そのためパームのプランテーションにも WISE を参考にした改善方法が有効であると考えられる。

日本の国土交通省らは WIB の実施を容易に行えるように図 1 のチェックリストを作成やセミナーの開催などを行ったことにより現場に広く普及させることに成功した。そこでパームのプランテーションに対しても簡単なチェックリストを製作しセミナーを開催するこ

図 1 WIB チェックリスト

項目	今のまま で良い	改善が 必要	優先 します	イラスト
整理・整頓				
1. 工具、漁具などのために、使いやすく わかりやすい棚、場所を設けます。 (メモ欄)	今のま ま <input type="checkbox"/>	改善が 必要 <input type="checkbox"/>	優先 します <input type="checkbox"/>	
2. 人や資材が動けるように、通路を確保 し、はっきりとした表示をつけます。 (メモ欄)	今のま ま <input type="checkbox"/>	改善が 必要 <input type="checkbox"/>	優先 します <input type="checkbox"/>	
3. 通路は、障害物やつまづくものがない よう整備します。 (メモ欄)	今のま ま <input type="checkbox"/>	改善が 必要 <input type="checkbox"/>	優先 します <input type="checkbox"/>	

とによって普及が可能なのであると想定される。さらに smallholder は資金繰りに余裕がなくセミナーに参加できないといった問題が発生すること考えられる。そのためセミナーの参加費用およびチェックリスト作成の際に掛かる費用を食料・生活用品メーカーが、CSR 活動の費用として負担することによりこの問題を解決できる。メーカーとしても自分たちが管理しきれないサプライチェーンが健全化されることに関しては十分にメリットとなりえるため、費用の負担についても実現が可能であるといえるだろう。

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

パーム油の問題は日本ではあまり重大に取り上げられていない。そのため、私たちはインターネットを用いて様々な NPO や大学の教授のレポートなどによる調査を行った。そうして集まったデータをもとに私たちが議論を行い、パーム油が抱える様々な問題のうち、人権問題に焦点を当て解決策を考えた。そして、メンバーの受講していた講義で取り上げられていた「自主改善活動」に着目し、これをパームの農園に活かせるのではないかと考え上記のような課題解決策に至った。

6. 結果や今後の取り組み

今回プレゼンテーションで提案するこの解決策は、我々一般消費者がパーム油に対しての関心と問題意識をもって初めてうまくいくものである。そこでこの企画シート及びプレゼンテーションご覧になった方々にこの問題について少しでも関心を持っていただければそれがこの研究の結果になるだろう。また、今後の取り組みとしてはさらに多くの人に、パーム油問題に関心を持たせられるような活動をしていく。そうして日本の食料品・生活用品メーカーもパーム油問題を理解し、改善へ向けた活動を行うインセンティブを創出したいと考える。

7. 参考文献

国土交通省 船内向け自主改善活動 アクションチェックリスト <http://www.mlit.go.jp/common/001034124.pdf>
(最終閲覧日 2017/09/27)

久宗周二 (2016) 「参加型自主改善活動のすすめ -自主的な労働安全衛生の実施を目指して-」創成社

プランテーションウォッチ あぶない油の話 パーム油のことを知るサイト <http://plantation-watch.org/abunaiabura/>
(最終閲覧日 2017/09/27)

AMNESTY INTERNATIONAL (2016/11/30) The Great Palm Oil Scandal

GREENPEACE Major palm oil company promises to protect forests
<http://www.greenpeace.org/international/en/news/Blogs/makingwaves/major-palm-oil-company-promises-to-protect-fo/blog/59285/> (最終閲覧日 2017/09/27)

RAINFOREST ACTION NETWORK Every Investor Has A Responsibility : Forest & Finance Risk Dossier
http://forestsandfinance.org/wp-content/uploads/2017/04/RAN_Every-Investor-Has-a-Responsibility_2017.pdf (最終閲覧日 2017/09/27)

RSPO Smallholders <http://www.rspo.org/smallholders> (最終閲覧日 2017/09/27)

<企画シート作成上の注意>

※本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、実行委員会から審査員(ビジネスパーソン・大学教員)の方々に事前にお渡しいたします。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。また、インナー大会・東京経済大学大会終了後、プレゼン部門にご協力いただいている日経BPマーケティング社様に作製していただく大会結果HPに本企画シートは掲載されます。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1〜7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、4ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4サイズでプリントし、4ページ目までをお渡しします。

※大会参加申込み時点から、チーム編成の変更(チームの人数・交代など)は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、実行委員会(プレゼン局)にご連絡ください。実行委員会側で協議のうえ、ご返答いたします。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※企画内容は、未発表の(過去に他誌・HPなどに発表されていない)ものに限ります。ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経BP社・日経BPマーケティング社は一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先(使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など)を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Webサイト上の資料を利用した場合は、URLとアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

※パワーポイント内で動画を使用する場合は、必ず「有」とご記入ください。動画を使用する際の注意事項は参加要項に記載しております。

※プレゼンツールを使用する場合は、必ず企画シートにご記入ください。企画シートにてご記入が無い場合、発表当日のご使用を「不可」とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

↑ ここまでを4ページ以内におさめて、提出してください